



滋賀県感染症発生動向調査週報

Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和7年 第46週 (11/10~11/16)

令和7年 11月20日発行 滋賀県感染症情報センター

【TEL】077-537-7438 【Mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

1. 今週の主な動向

- インフルエンザは、第45週に注意報発令基準に達したため、県内全域に注意報を発令しました(TOPICS)。第46週においても報告数が大幅に増加しています。手洗いや定期的な換気など感染対策に注意しましょう。インフルエンザの症状や予防方法など詳しい情報は以下の滋賀県ホームページをご確認ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/15385.html>

- 今年県内3例目となる麻しん患者(検査診断例)が報告されました。海外渡航歴あり。推定感染地域は国外です。

2. 全数把握疾患(今週報告例)

類型	疾患	診断週	保健所(i)	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	45	草津	80歳代	男	無症状病原体保有者	県内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	46	草津	10歳未満	女	-	県内	O157 VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	46	草津	60歳代	男	-	県内	O157 VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	46	草津	10歳代	男	-	県内	O157 VT1VT2
五類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	46	草津	90歳以上	女	-	県内	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	46	大津市	50歳代	男	-	-	ワクチン接種歴 不明
	侵襲性肺炎球菌感染症	46	大津市	70歳代	男	-	県内	ワクチン接種歴 無
	梅毒	46	大津市	20歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	46	草津	70歳代	男	-	県内	-
	麻しん	46	高島	10歳代	女	麻しん(検査診断例)	国外	ワクチン接種歴 有

百日咳

報告数:7例

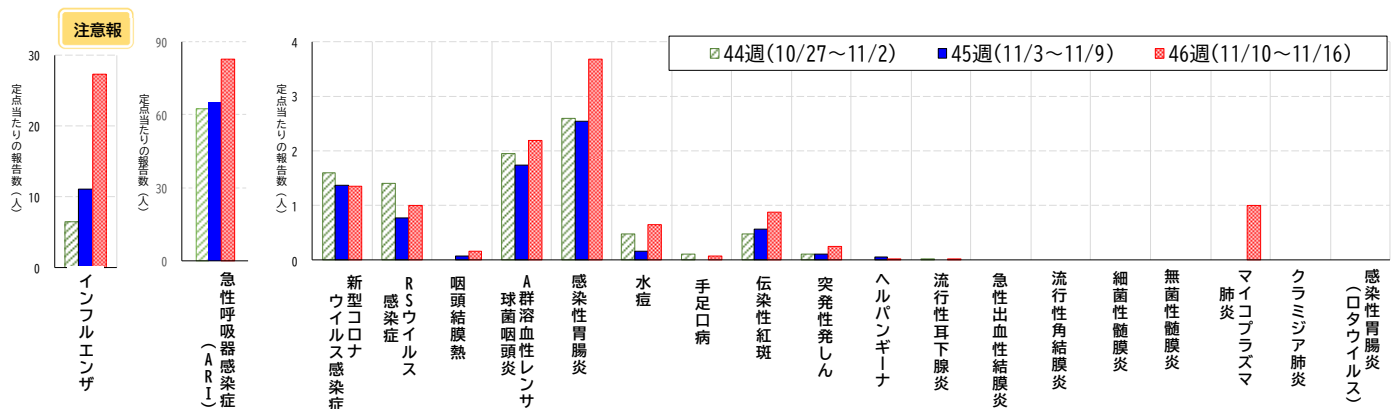
(年齢群 10歳未満:2例, 10歳代:3例, 20歳代:1例, 30歳代:0例, 40歳代:0例, 50歳代:0例, 60歳代:0例, 70歳代:1例, 80歳代:0例, 90歳以上:0例)

(保健所圏域 大津市:1例, 草津:2例, 甲賀:2例, 彦根:1例, 長浜:1例)

※ 百日咳は、報告数が多いことから、報告数合計および保健所圏域別、年齢群別の報告数を掲載

i. 発生届が届出された保健所を記載しています。患者住所ではありません。発生届は、全数報告の感染症を診断した医師から管轄保健所へ届出されます。

3. 定点把握疾患(五類感染症)の滋賀県の推移(今週と過去2週)



4. 病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報 (検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は月報・病原体情報に掲載しています。)

- ・第44週、第45週、第46週採取の検体からインフルエンザウイルスAH3亜型が検出されています(インフルエンザ)。
- ・第44週、第45週採取の検体からRSウイルス(A, B)が検出されています(RSウイルス感染症、上気道炎、下気道炎)。
- ・第44週、第45週、第46週採取の検体からパラインフルエンザウイルス2型が検出されています(上気道炎、下気道炎)。

(2) 定点以外の病原体検出情報 (衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報)

- ・第46週採取の検体から麻しんウイルスD8型が検出されています(麻しん)。

【資料編】

 1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和7年および令和6年に報告のあった疾患）^{ii, iii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国（前週）		昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			滋賀県	全国
二類 結核			116	33	19	8	21	16	16	3	12192		134	16238
			8.28	9.57	5.39	5.74	9.42	10.49	11.05	6.83	9.81		9.52	13.06
三類 腸管出血性大腸菌感染症			41	8	13	7	5	5	3	0	3854		34	3748
			2.93	2.32	3.69	5.02	2.24	3.28	2.07	0.00	0.36		2.42	3.01
四類 E型肝炎	○		1	0	1	0	0	0	0	0	506		2	527
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36		0.14	0.42
A型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	119		1	137
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36		0.07	0.11
オウム病			0	0	0	0	0	0	0	0	10		1	4
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01		0.07	0.00
つつが虫病			0	0	0	0	0	0	0	0	112		3	353
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09		0.21	0.28
デング熱	○	○	3	1	2	0	0	0	0	0	149		3	231
			0.21	0.29	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12		0.21	0.19
日本紅斑熱	○	○	2	0	1	0	1	0	0	0	647		0	523
			0.14	0.00	0.28	0.00	0.45	0.00	0.00	0.00	0.52		0.00	0.42
ライム病	○	○	1	0	0	0	0	0	1	0	16		0	25
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.69	0.00	0.01		0.00	0.02
レジオネラ症			30	5	3	1	10	6	2	3	2125		39	2428
			2.14	1.45	0.85	0.72	4.48	3.93	1.38	6.83	1.71		2.77	1.95
レプトスピラ症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	55		1	53
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04		0.07	0.04
五類 アメーバ赤痢			4	1	0	0	0	3	0	0	386		4	523
			0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	1.97	0.00	0.00	0.31		0.28	0.42
ウイルス性肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	214		1	228
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17		0.07	0.18
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			4	1	1	0	2	0	0	0	1065		22	2293
			0.29	0.29	0.28	0.00	0.90	0.00	0.00	0.00	0.86		1.56	1.84
急性弛緩性麻痺			0	0	0	0	0	0	0	0	31		1	48
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02		0.07	0.04
急性脳炎	○		4	1	2	0	0	1	0	0	476		1	633
			0.29	0.29	0.57	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.38		0.07	0.51
クリプトスポリジウム症	○		1	0	0	0	0	1	0	0	23		0	27
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.02		0.00	0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		2	1	0	0	0	0	1	0	158		1	172
			0.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.69	0.00	0.13		0.07	0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	○	26	6	7	1	6	3	3	0	1187		19	1893
			1.86	1.74	1.99	0.72	2.69	1.97	2.07	0.00	0.95		1.35	1.52
後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	○		7	3	1	1	1	1	0	0	732		6	1010
			0.50	0.87	0.28	0.72	0.45	0.66	0.00	0.00	0.59		0.43	0.81
ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	33		1	42
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03		0.07	0.03
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	○	10	2	6	0	1	0	1	0	576		8	651
			0.71	0.58	1.70	0.00	0.45	0.00	0.69	0.00	0.46		0.57	0.52
侵襲性髄膜炎菌感染症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	69		2	66
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06		0.14	0.05
侵襲性肺炎球菌感染症	○	○	42	16	10	2	5	4	5	0	2891		32	2555
			3.00	4.64	2.84	1.43	2.24	2.62	3.45	0.00	2.33		2.27	2.05
水痘（入院例）			4	0	3	0	0	0	1	0	575		3	486
			0.29	0.00	0.85	0.00	0.00	0.00	0.69	0.00	0.46		0.21	0.39
梅毒	○		69	21	20	3	10	4	10	1	11957		87	14816
			4.93	6.09	5.67	2.15	4.48	2.62	6.91	2.28	9.62		6.18	11.91
播種性クリプトコックス症	○	○	4	1	1	0	2	0	0	0	150		3	191
			0.29	0.29	0.28	0.00	0.90	0.00	0.00	0.00	0.12		0.21	0.15
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	84		1	86
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07		0.07	0.07
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	○	4	0	3	1	0	0	0	0	79		0	124
			0.29	0.00	0.85	0.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06		0.00	0.10
百日咳	○	○	758	218	163	128	84	71	65	29	85476		139	4093
			54.11	63.25	46.25	91.77	37.66	46.55	44.90	66.07	68.74		9.88	3.29
麻しん	○	○	3	1	1	0	0	0	0	1	233		1	45
			0.21	0.29	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	2.28	0.19		0.07	0.04

ii. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。

iii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値^{iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県							保健所別 (vii)							全国 (前週)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (v)	例年より 多い (vi)	例年より 非常に 多い(vi)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	警報 開始		警報 終息	注意報	
急性呼吸器 感染症 (ARI) (定点数:58)	急性呼吸器感染症 (ARI)	62.52	65.66	83.16	-	-	-	79.38	89.62	71.57	112.50	44.00	121.14	23.00	78.35	-	-	-	
	インフルエンザ	6.47	11.12	27.28	注	○	○	31.38	30.62	25.00	42.50	11.86	17.14	19.33	21.82	30	10	10	
	新型コロナウイルス感染症	1.60	1.38	1.36	-	○	-	0.77	1.38	2.29	2.13	0.71	1.57	0.67	1.95	-	-	-	
小児科 (定点数:35)	RSウイルス感染症	1.40	0.77	1.00	-	○	○	0.75	1.63	0.25	1.80	0.75	0.75	0	0.88	-	-	-	
	咽頭結膜熱	0	0.09	0.17				0	0.38	0	0.40	0	0.25	0	0.23	3	1	-	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.94	1.74	2.20		○		0.63	3.88	2.25	3.80	0.75	2.50	0	1.97	8	4	-	
	感染性胃腸炎	2.60	2.54	3.69		○		2.75	5.13	0.75	4.20	3.50	6.00	2.00	3.40	20	12	-	
	水痘	0.49	0.17	0.66		○	○	0.88	0.50	1.25	0.20	0.50	1.00	0	0.23	2	1	1	
	手足口病	0.11	0	0.09				0.38	0	0	0	0	0	0	0.14	5	2	-	
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.49	0.57	0.89		○	○	0.25	0	0.25	4.80	0.25	0.75	0	0.66	2	1	-	
	突発性発しん	0.11	0.11	0.26	-	○		0	0.38	0.25	0.40	0.25	0.50	0	0.22	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	0	0.06	0.03				0.13	0	0	0	0	0	0	0.09	6	2	-	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.03	0	0.03				0	0.13	0	0	0	0	0	0.03	6	2	3	
眼科 (定点数:9)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	-	
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.70	8	4	-	
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.03	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	1.00	-	○		6.00	1.00	0	0	0	0	0	1.42	-	-	-	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-	
	インフルエンザ入院	0.57	1.29	3.86	-	○	○	5.00	9.00	0	9.00	0	1.00	3.00	1.85	-	-	-	
	COVID-19入院	1.14	2.43	1.43	-	○	-	1.00	2.00	2.00	1.00	1.00	3.00	0	1.73	-	-	-	

iv. 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点 (医療機関) で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

v. 定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報 (「警」) を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報 (「注」) を発令します。

警報・注意報のない疾患については、「-」と標記しています。

vi. 今週の値が過去5年の同時期 (全数把握疾患は同時期の累積報告数) の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差 (SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記 (定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)。

新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。

急性呼吸器感染症 (ARI) は、過去5年のデータがなく、昨年のデータもないため、「例年より多い」および「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。

vii. **赤字斜字**: 警報開始基準値以上、**紫字斜字**: 注意報基準値以上

3-1. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週） 「-」: 報告なし

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (58医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	1582	5	15	51	60	62	119	141	116	122	95	83	327	107	67	54	64	39	23	18	14
大津市保健所	408	3	5	14	15	12	15	26	19	24	27	16	95	55	22	12	19	13	3	6	7
草津保健所	398	-	-	11	8	14	25	41	20	34	22	19	78	27	19	26	28	15	6	4	1
甲賀保健所	175	-	1	6	8	7	23	15	26	5	5	10	36	8	9	5	4	-	6	-	1
東近江保健所	340	1	8	11	19	17	36	40	32	39	29	29	50	1	5	7	6	3	3	3	1
彦根保健所	83	-	1	4	2	4	5	6	9	2	2	1	19	9	6	2	4	2	3	2	-
長浜保健所	120	1	-	4	8	5	13	11	5	13	3	7	35	5	2	-	1	2	1	2	2
高島保健所	58	-	-	1	-	3	2	2	5	5	7	1	14	2	4	2	2	4	1	1	2

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (58医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
新型コロナウイルス 感染症	79	3	-	1	1	-	-	4	2	1	2	-	7	7	2	9	8	7	3	12	10
大津市保健所	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	1	1	2
草津保健所	18	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	3	1	1	5	2	1	-	1
甲賀保健所	16	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	1	5	3
東近江保健所	17	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	6	3	-	1	-	1	-	1	1
彦根保健所	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-
長浜保健所	11	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	3	3
高島保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (58医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
急性呼吸器感染症 (ARI)	4823	238	1469	1187	586	193	161	181	172	165	154	169	148
大津市保健所	1032	50	242	254	156	82	37	45	51	34	29	25	27
草津保健所	1165	57	341	255	120	53	62	80	63	56	37	27	14
甲賀保健所	501	22	174	138	51	16	17	10	11	10	21	17	14
東近江保健所	900	56	296	251	101	16	17	26	16	27	26	37	31
彦根保健所	308	8	82	52	34	12	15	8	19	13	20	30	15
長浜保健所	848	43	321	210	114	12	9	10	11	22	20	31	45
高島保健所	69	2	13	27	10	2	4	2	1	3	1	2	2

3-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「-」: 報告なし

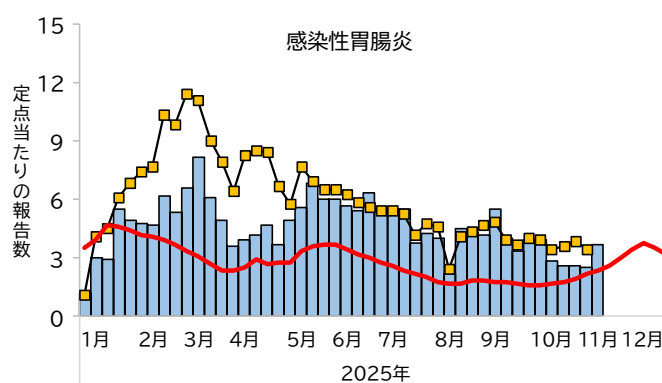
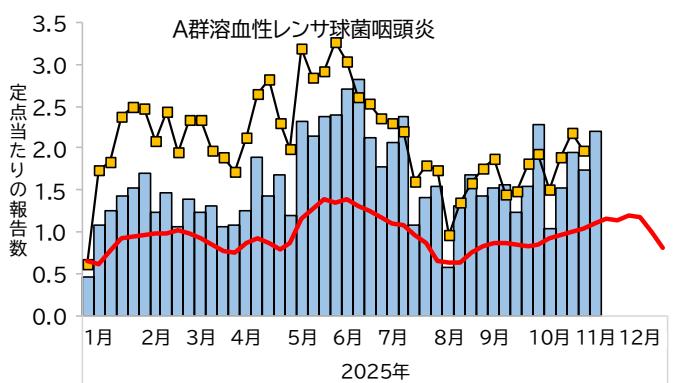
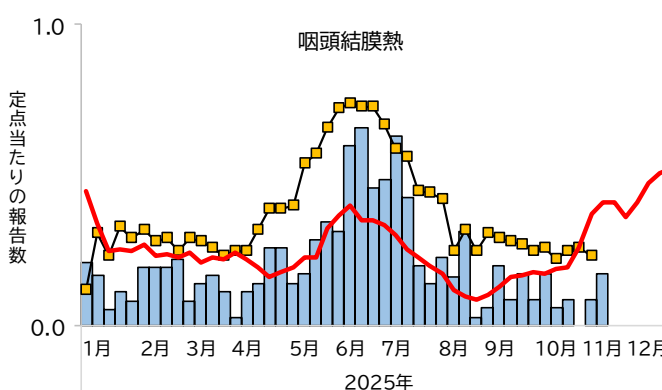
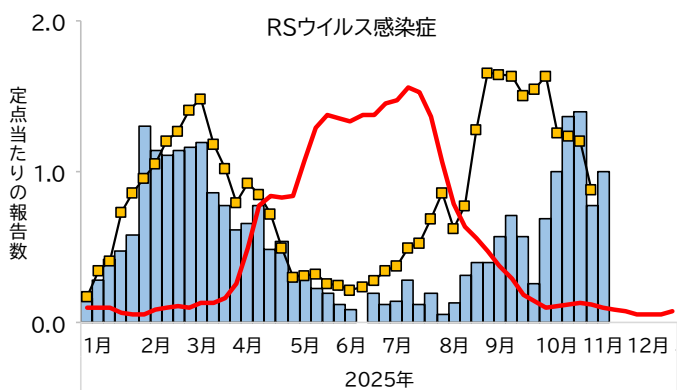
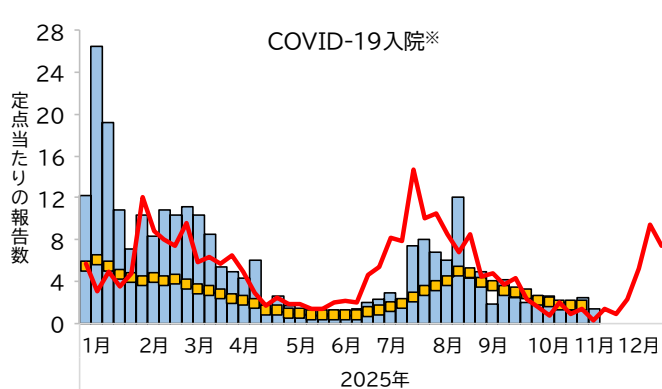
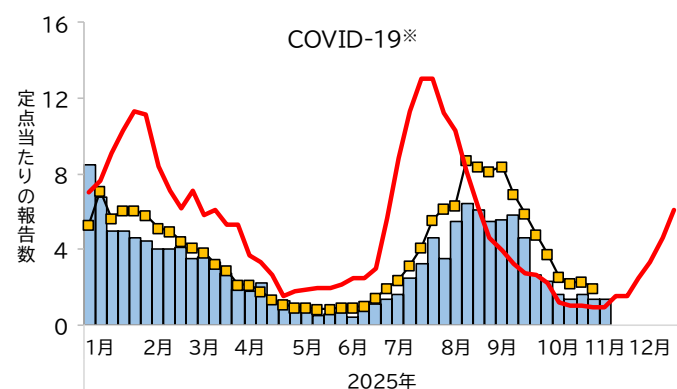
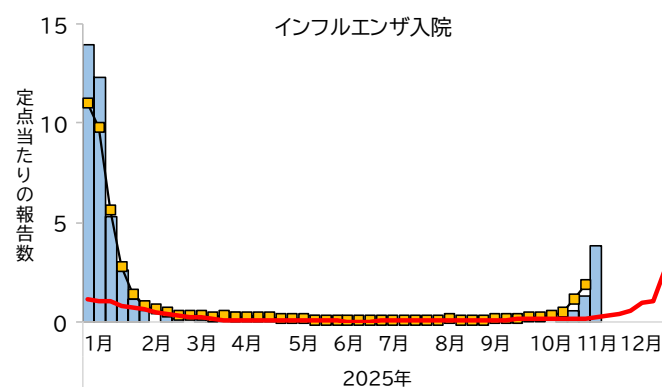
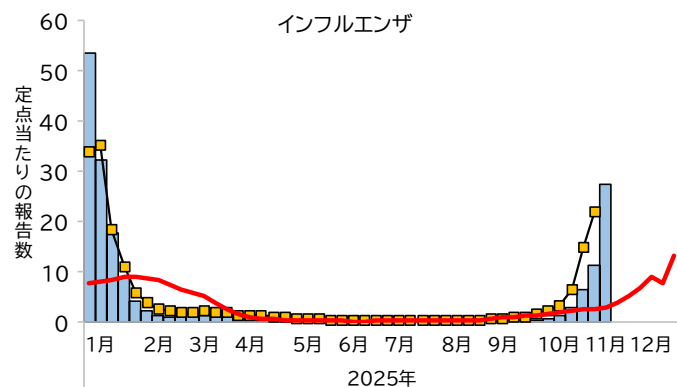
小児科定点 (35医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	35	10	3	11	8	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	77	-	-	-	3	3	13	14	12	11	4	2	11	2	2
感染性胃腸炎	129	1	9	20	14	3	13	19	14	2	7	4	9	3	11
水痘	23	-	1	1	1	1	2	3	2	4	1	1	6	-	-
手足口病	3	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	31	-	-	1	1	1	4	9	6	4	3	2	-	-	-
突発性発しん	9	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

眼科定点 (9医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院	27	2	2	11	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	8
新型コロナウイルス 感染症入院	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	7

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

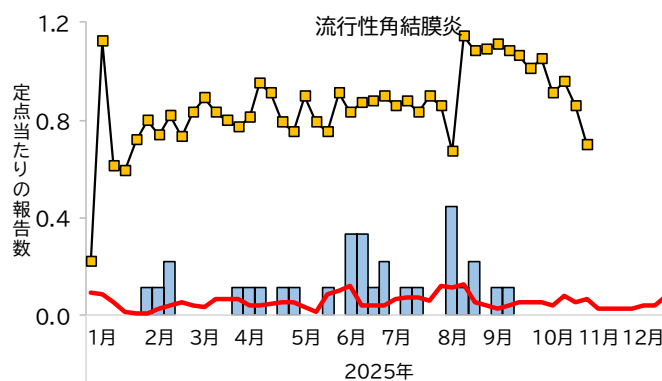
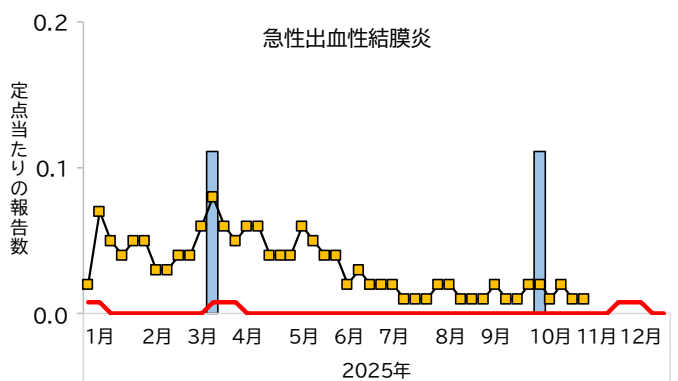
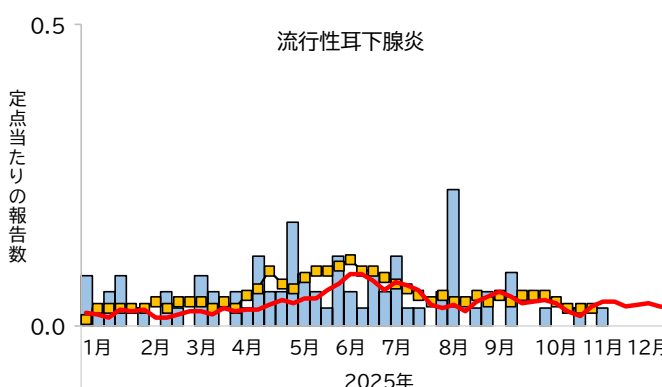
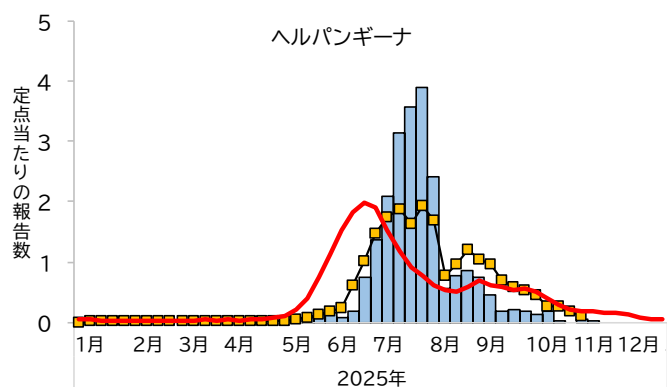
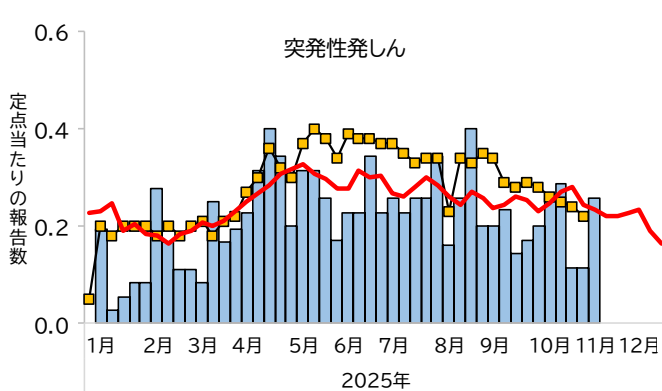
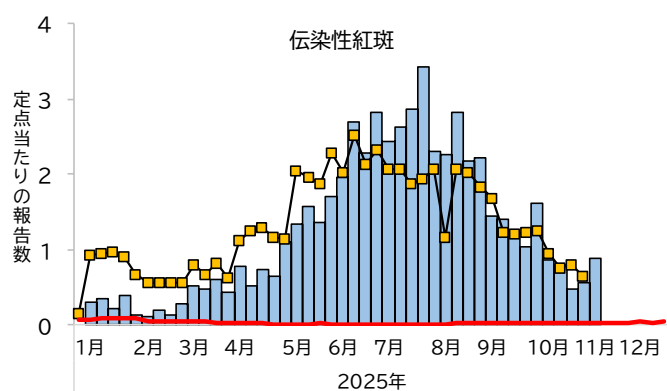
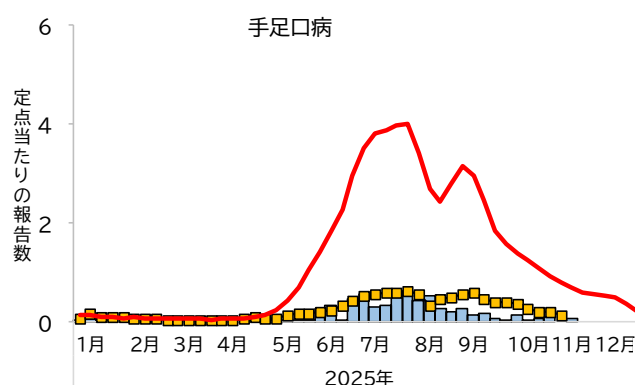
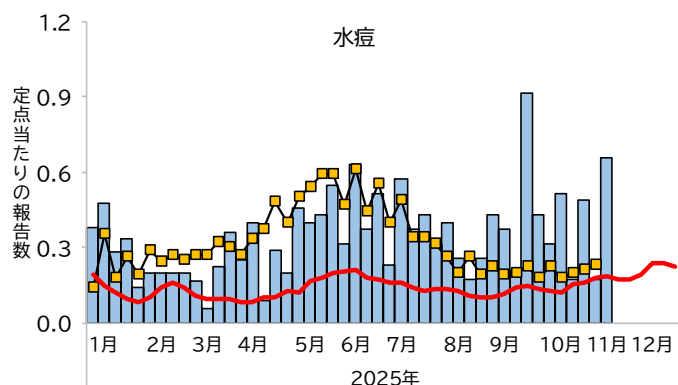
■ 滋賀県 ■ 全国 — 2020～24年平均値滋賀県



※過去5年分のデータがないため、『2020年～24年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2024年』の値を掲載しています。

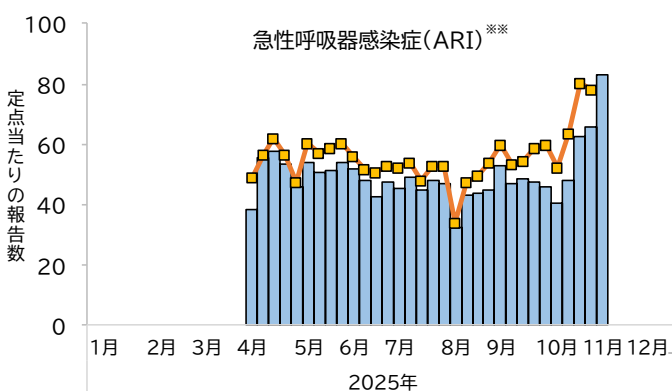
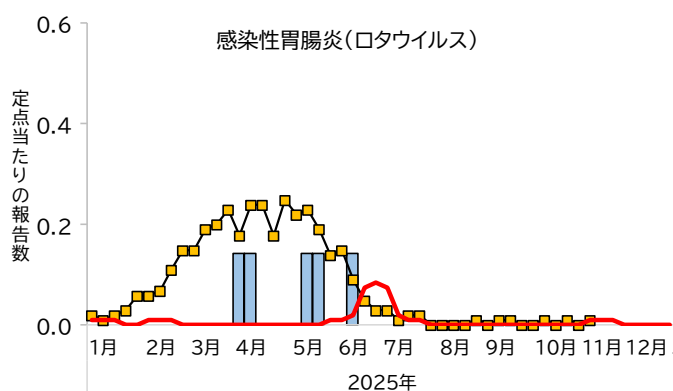
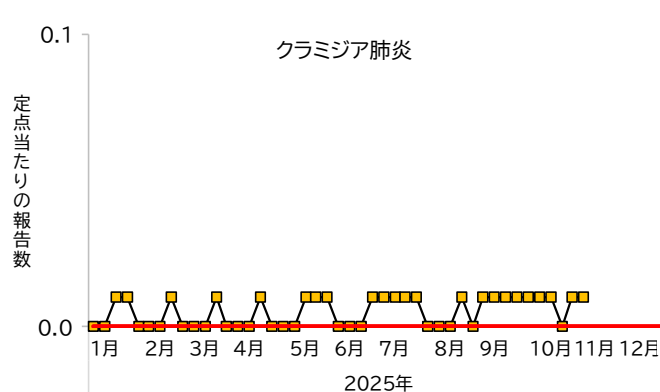
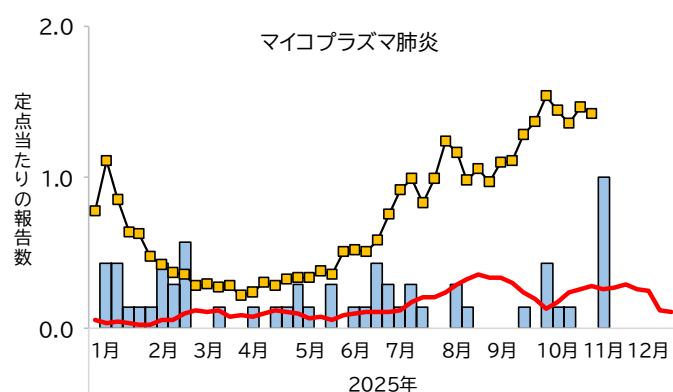
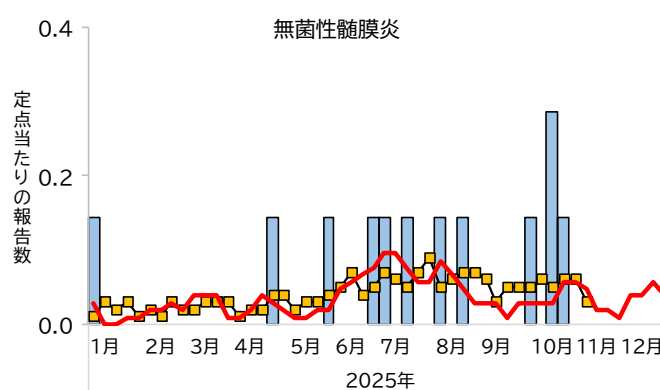
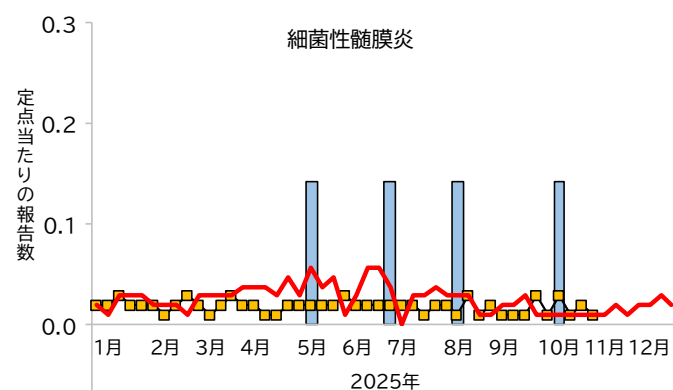
5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国 — 2020～24年平均値滋賀県



5-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国 — 2020～24年平均値滋賀県

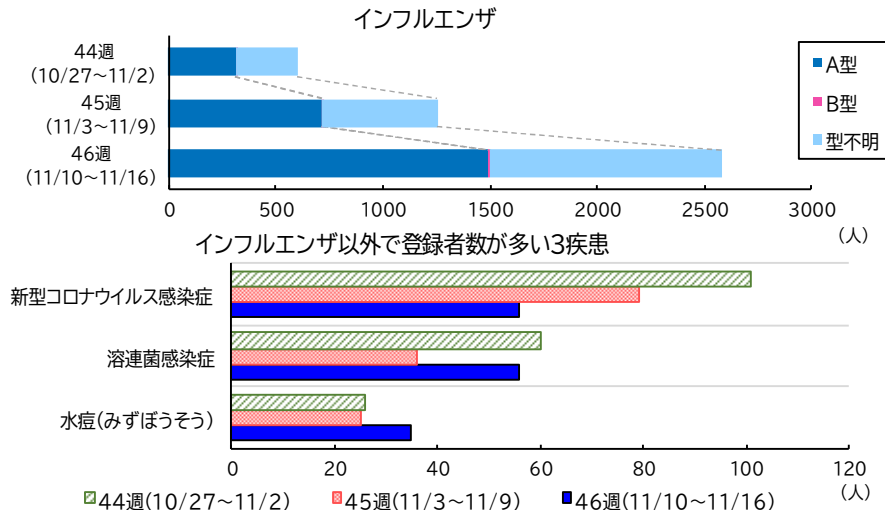


※※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から報告が始まったため、過去5年のデータ(折れ線グラフ)はありません。

6. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。

入力いただいたデータを集計して掲載しています。



7. 参考情報

【全国情報】

『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

『病原体検出情報(IASR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』

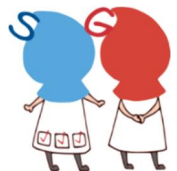
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/inful/school/flulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

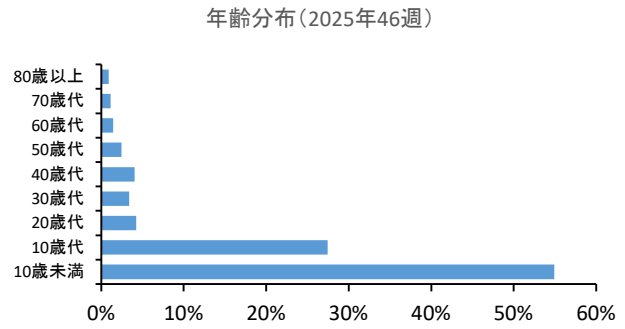
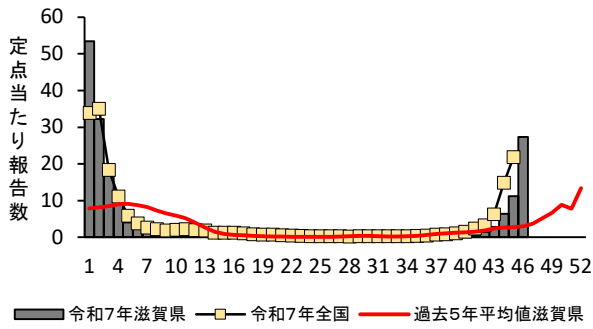
『感染症法に基づく医師の届出のお願い』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

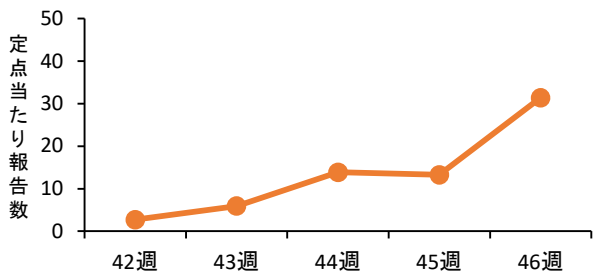
- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。
- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。
滋賀県感染症情報センターHP: <https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



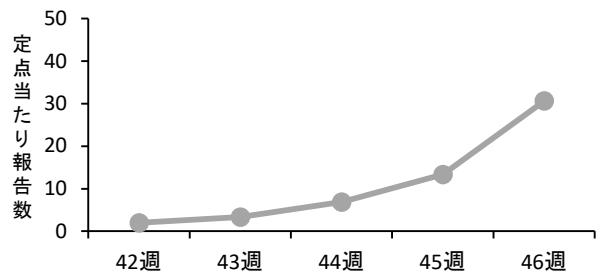
滋賀県 インフルエンザ感染動向 令和7年第46週



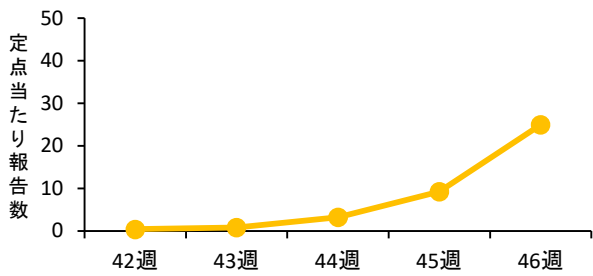
大津市



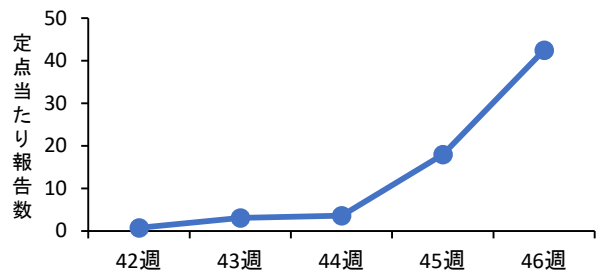
草津



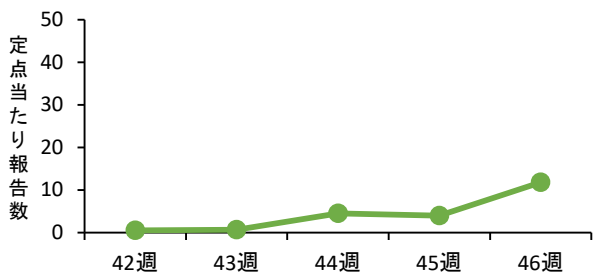
甲賀



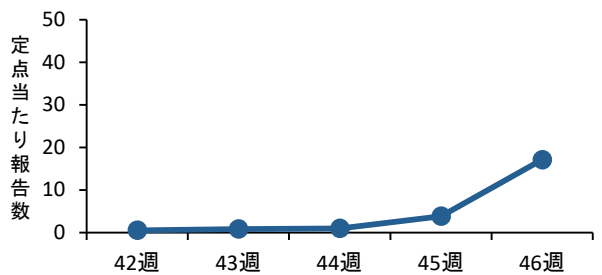
東近江



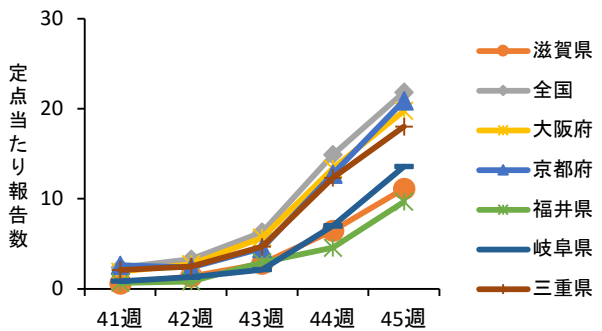
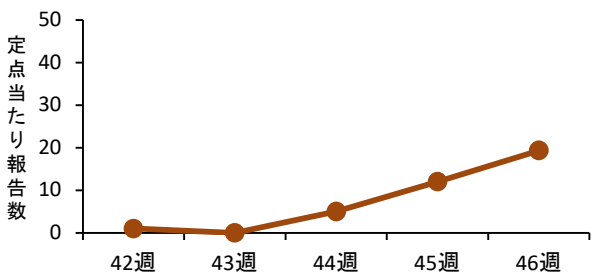
彦根



長浜



高島





第46週のTopics

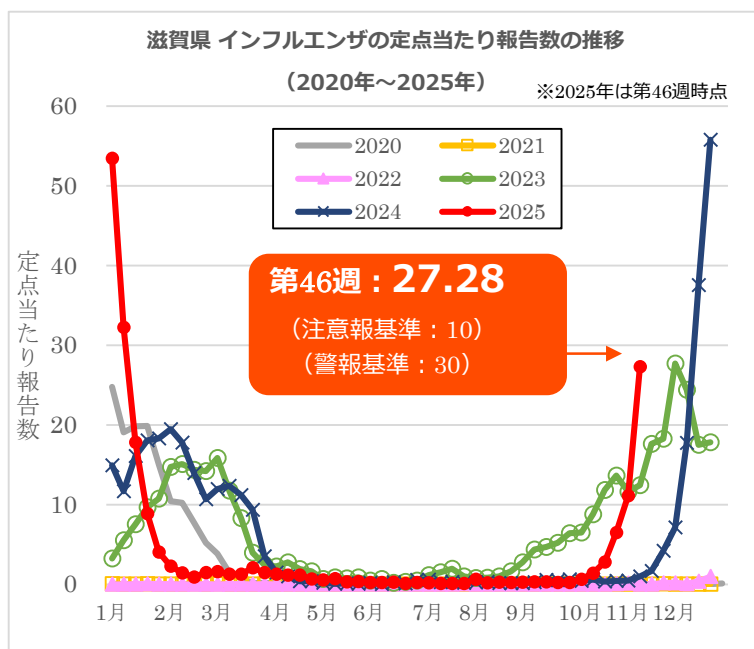
季節性インフルエンザの注意報を発令しています

インフルエンザは、第45週(11/3~11/9)に「感染症発生動向調査に基づく流行の警報および注意報システムによる情報提供要領」の注意報発令基準に達したため、県内全域に**注意報**を発令しました。第46週においても報告数が大幅に増加しています。

■季節性インフルエンザの概要

季節性インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする感染症で、感染経路としては飛沫感染や接触感染です。また、感染してから概ね1日から3日程度後に、発熱や咳、頭痛などの症状が出現し、重症化すると肺炎や脳症を起こすこともある疾患です。

季節性インフルエンザは、例年 **12月~3月** が流行シーズンです。これから更に患者が増加することが想定されますので、以下に記載する基本的な感染対策を心がけてください。



予防のために**基本的な感染対策**を行いましょう

■帰宅時や食事の前には手洗いを！

流水・石鹸による手洗いは、インフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効です。また、手洗い後は、**アルコール製剤による手指消毒**も行いましょう。



■定期的な換気や咳エチケットを！

インフルエンザに限らず、感染症対策として換気が重要です。**定期的な換気**を心がけましょう。また、他者に感染を拡げないためにも、症状がある場合は、**マスク着用を含めた咳エチケット**が大切です。

■早めにワクチン接種！

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。インフルエンザがこれから更に増加することが想定されますので、**早めのワクチン接種**をご検討ください。

